

「介護予防と暮らしのニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」の実施について

1 調査の概要

第10次豊山町高齢者福祉計画・第9次豊山町介護保険事業計画を策定するために必要な情報を収集・分析するため、以下の調査を実施する。

【介護予防と暮らしのニーズ調査】

目的：要介護状態になる前の高齢者リスクや社会参加状況を把握し、地域の抱える課題を特定する。

調査範囲：要介護1～5以外の高齢者（65歳以上）

対象者数：600人

調査方法：標本調査（層化無作為抽出）

抽出方法：調査範囲に該当する者を男女2区分、65～74歳と75歳以上の2区分、要介護状態を、認定無し、事業対象者、要支援1、要支援2の4区分に分け、対象者数600人を各区分の比率となるように無作為に抽出

【在宅介護実態調査】

目的：要介護者本人の適切な在宅生活の継続、家族等介護者の就労継続を支えるために必要なサービスを把握する。

調査範囲：要介護1～5の者

対象者数：286人

調査方法：^{しっかい}悉皆調査（全数抽出）

抽出方法：要介護1～5の者から、医療機関に入院している者及び施設に入所している者を除いた全員（一般的に在宅扱いとされる施設入所者は含む）

2 今後のスケジュール

1月13日 調査票発送

2月 3日 調査票回答締切り

3月下旬 調査票集計・分析（委託業者での作業）